

広島市教育センター

京の中の母子

N. MAEDA

## 歴史に学ぶ

広島市教育センター所長 植田保之

ことしは、歴史の節目を感じさせる年である。大正生まれの先生は、この春、定年で退職され、あとは昭和生まれの先生のみということになった。また、教育基本法・学校教育法の施行により、新学制の6・3制が発足して40年になる。さらに、日本国憲法も昭和22年5月3日の施行であるから、ことしで不惑を迎えたことになる。

ことしの憲法記念日前後の各新聞の特集記事を読んでいて、“歴史”の二文字が多く使われていることに驚いた。歴史の意味、歴史の教訓、歴史の重み、過去の歴史に対する痛み、歴史に対する責任、歴史の皮肉……と。

“歴史”の好きな人は多いという。戦後の出版界を振り返ってみても、日本歴史の全集ものの刊行が続き、歴史ブームといわれた時期もあった。一体に歴史ものは売れるといわれているが、テレビでも歴史ものは多く、しかも人気がある。NHKテレビの日曜夜の大河ドラマの歴史は古いが、「独眼竜政宗」のような歴史ものの視聴率が高いという。

これは、歴史事象や人物が理屈を越えて人間をひきつけるからだという。この歴史の特性ともいえる“歴史”のもつ不思議な魅力が

ら歴史が好きになった人も多いにちがいない。今、レトロ（回顧的）ばやりといわれているそうだが、ハイテク時代においても同じことが言えるからかもしれない。

このように、昔も今もわれわれをひきつけてやまない“歴史”とは一体何だろうか。歴史とは、人類の過去における変遷・興亡の記録である。また、人類がこれまで積み重ねてきた体験の総和とか、時の流れにおける人間のいとなみなどともいわれる。

そしてまた、人間は歴史的存在であるといわれる。人間は歴史の中に生まれ、過去の歴史の上に、未来の歴史を生み出す存在として現在を生きているのだという。

歴史を学ぶということは、単に過去の歴史についての理解にとどまらず、歴史に学ぶためである。歴史のことを鑑（かがみ）といったり、道標や灯台にたとえたりもする。現在には、現在にいたる長い歴史が流れているのであり、歴史を見る眼は同時に現在を見る眼でなければならない。古くから「温故知新」といわれているように、歴史に学んだことが現在や将来に生かされるのでなければ、歴史を学ぶことの意味はない。

共同研究紹介

マイクロコンピュータ教育利用に関する研究

広島市教育センターでは、高度情報化社会に対応した教育の進め方を探るため、昭和61年度の研究事業の一つとして研究プロジェクトを発足させ、マイクロコンピュータの教育利用について基礎的な研究を行ってきました。

このたび、第1年次の研究がまとまりましたので、その概要を紹介します。

LOGOを用いた授業

今回の研究では、次の点からソフト開発や実証授業を通して研究をすすめてきました。

- \* マイクロコンピュータを学習指導にどのように利用するかについて他の教育機器と比較し、利用上の在り方や問題点を検討する（C A I的利用）。
- \* マイクロコンピュータを学習診断や成績管理、備品や統計処理等にどのように利用するかについて研究する（C M I的利用）。



▲ LOGOを用いた授業

▶ 支援ソフトによるソフト作成

C A I的利用

C A I的利用

～ 小学校 ～

- \* 授業へのLOGO（ロゴ）の利用と児童のマイコン活用能力状況の把握
- \* BASICによるソフト作成と一斉授業への利用（わり算）
- \* BASICによるソフト作成とマイコンの理科学習への位置づけ

～ 中学校 ～

- \* 図形教材へのX-Yプロッタの利用
- \* BASICによるソフト作成と一斉授業への利用（一次関数）
- \* 教材支援ソフトによるソフト作成

～ 高等学校 ～

- \* 数学科へのマイコンの位置づけ
- \* 物理におけるシミュレーションプログラムの作成
- \* 化学における市販ソフトの検討と作成

広島市教育センター『研究報告書』No.11  
(昭和62年3月発行) 参照

C M I的利用

- \* 実態調査でのマイコンの活用
- \* マイコンによる成績処理
- \* S-P表プログラムの作成とその活用
- \* データベース構築による備品の管理

昭和62年度プロジェクト研究員

	氏名	所属
小学校	濱本正志	広島市立江波小学校
	崎家聡	広島市立仁保小学校
	沖重和彦	広島市立原小学校
	森本忠昭	広島市立口田小学校
中学校	梶川明利	広島市立五日市東小学校
	梶田裕司	広島市立大州中学校
	齋木俊彦	広島市立中広中学校
	土岐山修二	広島市立高取北中学校
高等学校	占永誠	広島市立龜山中学校
	豊原芳史	広島市立矢野中学校
	平野弘幸	広島市立基町高等学校
	正木勝治	広島市立舟入高等学校
中学校	神垣義文	広島市立広島商業高等学校
	三上英臣	広島市立広島工業高等学校
	満田司	広島市立大手町商業高等学校
阿部修三	広島市立安佐北高等学校	
平井忠彦	広島市立沼田高等学校	

## 子どもの生活を見つめなおす

広島市立長束幼稚園

教諭 川崎 文子

今年度の本園の研究主題の中に「子どもの生活を創る」という一節があります。子どもの生活そのものをはじめから考えなおしてみようというものです。私は、その中でも特に「運動」に関する幼児の育ち方や、総合的活動と子どもの生活の位置づけについて、私なりに研究を進めてみたいと思っています。幼稚園教育指導講座（2組）の内容は、私の研究テーマにぴったりあてはまるものであり、受講を楽しみにしています。



## 豊かな討議づくりをめざして

広島市立口田中学校

教諭 和田 晋

今、生徒会を指導しながら、生徒に全校集団を正しく認識させるには、学級集団づくりの中で、討議づくりにもっと力点をおいて実践する必要があると痛感しています。討議づくりの中でこそ、リーダーを育て、一人ひとりの自覚的な行動をつくり出し、正しい価値観を示し、また、集団の自治と力を教えることが可能になると思うからです。そのような討議づくりにおける教師の指導性はどうかあるべきかを研修していきたいと考えています。

## コンピュータの教育利用について

広島市立戸坂城山小学校

教諭 高住 靖人

ちえ遅れの子どもたちに興味や関心をもたせ、いきいきと学習をすすめる上で、子どもの状態にふさわしい教材・教具を工夫し、開発していくことは、大変重要な課題です。

今年度は動作の敏速性・安定性・軽便性などの特性をもつコンピュータについて、まずその基本的な性能や効果について研修をすすめ、子どもの実態に応じた教育効果のある活用のしかたを工夫していきたいと考えています。

## 私の研修計画

昭和61年度研修参加者数 17,852名

## “こころ”を磨き育てたい

広島市安古市公民館

主事 日野 克彦

私は、研修という言葉から専門的な技術や技能を磨くことを思い浮かべます。

社会教育の実践に必要な技術も、習得すべき事が多くあります。研修を積み重ねて、その道のプロになることも必要ですが、技術と同じように“こころ”が育っていないように思います。

研修により、技術を磨いていくと共に、“こころ”も磨き育て、自分自身を高めていきたいと思っています。

共同研究紹介

広島市教育センターでは当面する緊要な教育課題をとらえ、研究協力員の先生方の協力を得ながら共同研究を行っています。今回は「生徒指導」に関する共同研究の概要を紹介します。

今の子どもの人間関係

—「いじめ」の問題を中心にして—

この研究は、今日の学校教育における緊要な課題である「いじめ」について分析し、今の子どもの人間関係にみられる問題を考察することによって、「いじめ」問題の解決を指向するとともに、子どもたちの健全で豊かな人間関係の育成への手がかりを得ようとしたものである。

子の性格行動に求める等がとらえられた。

こうした「いじめ」が発生する要因・背景を「いじめ」の土壌として図1のようにまとめ、それに基づいて「いじめ」の相談事例や「子どもの遊びと友達関係」「子どものストレス」等の実態調査結果を分析・考察していった。

その結果、次のことがとらえられた。

- (1) 自立性の未発達と、家庭教育にみられる自立性発達の阻害要因
- (2) 人間関係の未熟さ・歪みと、子どもたちの生活にみられる体験不足の要因
- (3) 過剰なストレスと、それを生む学校にみられる要因

「いじめ」の土壌

「いじめ」の実態調査結果から、今日の「いじめ」の特徴として、①公然と行われる、②長期化・集団化を示す、③遊び半分・気分発散としていじめる、④いじめられっ子も含まれども「いじめ」の原因をいじめられる

図1 「いじめ」の土壌

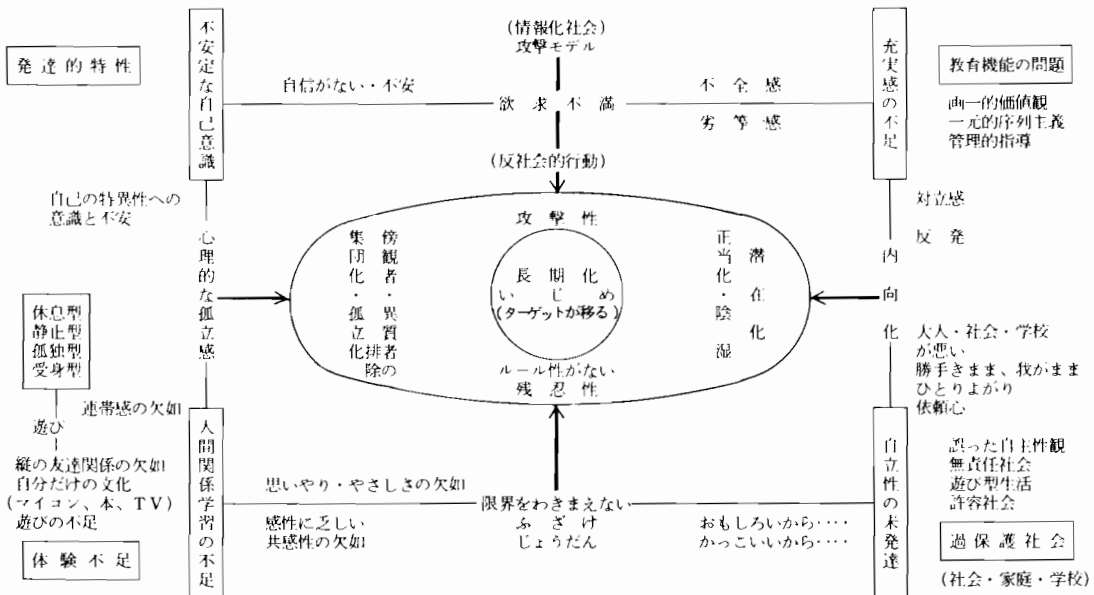
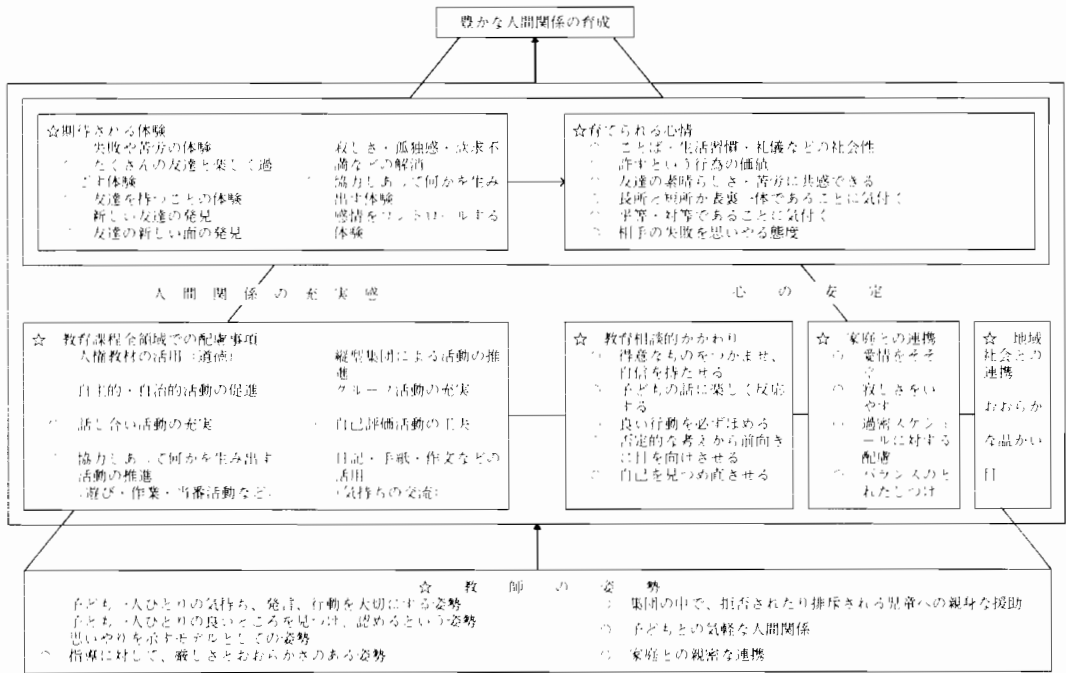


図2 学校教育における子どもたちの人間関係の育成



(4) 対人関係の歪みと、それを醸し出す偏った教師の対応

「いじめ」と教師

校務の中心的存在であり、多くの教職員や保護者から信頼されている担任でありながら、担任に見えないところで、長期にわたって残忍な「いじめ」が続いていた事例を分析し、「いじめ」を解決する教師の対応について次のようにまとめた。

(1) 教育は子どもの心を知ろうとする努力から始まる

子どもとの信頼関係をつくる、謙虚に他人の意見や批判に耳を傾け幅広い情報を求める、子どもの発達の特徴・心身の病理を理解しておくなどを心がけておかなければならない。

(2) 子どもを育てる

いたわり・思いやりや連帯感、意欲的に努力する心、一人ひとりの存在感を育てる必要がある。

(3) 子どもを心のサインをとらえる

抑圧された感情が無意識のうちに現れてきている子どもの言動(サイン)を敏感にとらえなければならない。

(4) 「いじめ」の構造を理解する

巧妙にカモフラージュされ見えにくく、しかも残忍・執拗で、いじめられる方の心を深く傷付ける「いじめ」をとらえるためには、今日の「いじめ」の特徴を理解し、構造的にとらえていかなければならない。

(5) 「いじめ」を土台に人間関係を育てる

子どもの心を開きさせないよう受容的・共感的に理解していく中で、いじめられっ子の意欲的・主体的な生活態度を育て、いじめの子や周囲の子の連帯感や思いやりを育てていく必要がある。(図2)

(6) 保護者のことばに耳を傾ける

(「生徒指導」共同研究グループ)

# 教育センターひろば

今年度前期は次の5名の先生方が、それぞれの専門分野で研修を進めておられます。

**\*社会科教育：**松田和彦教諭（清和中）

研修題目：社会認識を深めるための授業の構造化に関する研究

**\*音楽科教育：**正坊地武生教諭（日田東小）

研修題目：表現活動を生かした鑑賞指導に関する研究

**\*特別活動：**野村誠公教諭（基町小）

研修題目：学級指導の指導過程における効果的な問題解決活動に関する研究

**\*教育工学：**神津住男教諭（観音中）

研修題目：教育工学的手法をとり入れた学習指導の改善に関する研究

**\*障害児教育：**酒井秀樹教諭（戸坂城山小）

研修題目：自閉児の対人関係を育てる指導に関する研究

**\*離退任**

～ 在任中はお世話になりました ～

下西茂樹所長（退職）

坂本信義次長（退職）

木村琢壯主任指導主事（五日市観音小学校長へ）

佐々木英美子指導主事（己斐上中学校教諭へ）

益永康雄主事（基町高等学校主事へ）

野澤恒夫研修指導員（退職）

**\*着任**

～ どうぞよろしく ～

原田力次長（市教委指導課から）

長谷川尚徹指導主事（亀崎中学校から）

財津伸子指導主事（安西中学校から）

松田了二指導主事（高取北中学校から）

越智文嗣指導主事（宇品東小学校から）

服部和之主事補（新規採用）

温田家弘研修指導員（前祇園小学校長）

部	事業等	職名	氏名	担当業務
		所長 長次	植田 保之 原 田 力	所務総括 所務管理・執行
管理・経理部	管理・経理	主任 主任 主事 主事	笠原 孝行 大海 恭子 服 部 和之	部内総括、施設設備の維持・管理 公印、送付、文書処理等 予算、決算、経理等
第一研修部	教育相談・広報	主任指導主事	橋本 郁治	部内総括、生徒指導、教育相談
		指導主事	宮 河 治	障害児教育、教育相談
		指導主事	坂本 武夫	幼稚園教育
		指導主事	舟 尾 好博	特別活動、同和教育
		指導主事	長谷川 尚徹	生徒指導、教育相談
		指導主事	松 田 了二	学校教育史編纂、特別活動
		指導主事	兼：有村 憲一郎 兼：伊藤 守夫	教育相談
第二研修部	研究・図書資料備・教育工学	主任指導主事	木 本 寿直	部内総括、教育工学、視聴覚教育
		指導主事	福 原 敏治郎	外国語・英語・科
		指導主事	早 川 豊	社会科、道徳
		指導主事	民 安 和昭	算数科、数学科
		指導主事	財津 伸子	国語科
		研修指導員	・ 浦 徳 光	教育工学、視聴覚教育
		図書資料室嘱託	田 平 久 恵	図書資料関係事務
第三研修部	研究・企画	主任指導主事	中 村 道徳	部内総括、家庭科、技術・家庭科
		指導主事	竹 本 建治	音楽科
		指導主事	西 川 勝士	理科
		指導主事	西 村 達男	図画工作科、工芸科
		指導主事	越 智 文 嗣	理科
		研修指導員	加 藤 良 明 温 田 家 弘	家庭科、技術・家庭科 理科

（兼）は兼務

**表紙絵** 広島市立翠町中学校長 前田 典生  
～平和記念公園 嵐の中の母子像～  
**題字** 広島市立牛田新町小学校長 安田 壮

## 編 集 後 記

本年度最初の所報をお届けします。今回は緊要な教育課題となっている「いじめ」問題についての教育研究を特集しました。子どもたちの望ましい人間関係育成に役立てていただきたいと思います。